

富士・吉原工高電子科6人

無線探索競技 全国V

筋トレ、走り込み実る

富士市の県立吉原工高電子科の生徒6人が今秋、富山県で開催された全日本ARDF（アマチュア無線方向探索）競技大会の高校対抗の部で初優勝を果たした。同校の同大会への挑戦は5回目。

メンバーは工業の専攻を受けている3年の河内 大、大窪翔太さん、1年の小泉雅人さん、渡辺明輝さん。門科目「課題研究」で大恭さん、桜井文寛さん、2年の植田真仁さん、



初優勝を果たした吉原工高の選手ら（左から）富士市の同校

ARDFは、小型受信機を使い、屋外のフィールドに隠された送信機を見つけ出すタイムと数を争う競技。感度を上げるために受信機を改良したり、筋力トレーニングや走り込みをしたりと、放課後や土日の多くの時間を費やしてきた。

大会当日は土砂降りの中、選手は受信機を手に会場の森の中をそれぞれ約10分走って送信機を探し回った。桜井さんは「みんなできつい練習を乗り越えた

静岡新聞 2013年 11月 7日 朝刊
静岡新聞社編集局調査部掲載許諾済み